

～ 語りあおう おやじ達！ 島へ！ ～

第1回みやぎおやじサミット 報告書

日時：平成29年9月17日（日） 10:30～14:00

場所：塩竈市野々島ブルーセンター（浦戸諸島開発総合センター）



当日 スケジュール

- 10:30～ 開会式
- 11:00～ 全体会
- 11:30～ 昼食・交流会
- 12:30～ 分科会
- 14:00 閉会式

全体会

『島で生きること 暮らすこと』

自然と人間味に溢れた野々島に暮らす人々の 現在そして未来 日々の暮らしや希望など 島の方からのお話を伺います。

分科会

第一分科会

『おやじを地域に送り出す』

活動という名の飲み会が多いことが家族の悩み それでも応援する理由は？

第二分科会

『立て！おやじ達!!』

いじめ問題に 地域は おやじ達は どう立ち向かうのか？

第三分科会

『地域とおやじの会』

地域が豊かになる事に おやじの会は どう貢献出来るのか？

第四分科会（参加対象：小学生）

『島探検!』

野々島にしかない自然と触れ合う 集まれ！冒険好きの元気な子ども達



主催：みやぎおやじサミット実行委員会（お父さんたちのネットワーク）

共催：宮城県教育委員会生涯学習課／塩竈市教育委員会生涯学習課

後援：宮城県教育委員会／仙台市教育委員会／塩竈市教育委員会
河北新報社／みやぎテレビ／TBC東北放送／仙台放送／KHB東日本放送／DateFM

語りあおう おやし達! 島へ!

第1回みやぎおやしサミット報告書

はじめに

宮城県内の100を越えるいわゆるおやじの会は、全国でも先駆けてネットワークを形成しました。以来、父親の家庭教育参加を促進するための数々のイベントをなしてきてきました。

特に、2013年の全国おやしサミットinみやぎ、2012年の第3回全国家庭教育支援研究協議会、2008年の日韓おやしフォーラムinみやぎなどでは父親が子どもの教育に関わることの楽しさと大切さを宮城県内外に大いにアピールしたと自負しております。

昨年、当時浦戸小中学校の教頭先生だった松崎和佳子先生を訪ね、野々島の自然とそこに暮らす人々の魅力、学校に通う子どもたちのおおらかさなど教えていただき、いつかこの島で「おやしサミット」を実施したいと思いつきました。

今回のサミットは、日本列島南西に台風が近づきつつあるという事もありましたが、「語りあおう おやし達! 島へ!」という標語の下で、宮城県内および東北のおやじの会に呼びかけ、自然豊かな宮城の地で、地域や社会の中で、父親たちの役割とは何か、家庭教育や学校教育への支援などにどう関わっていくのかを、語り合う場となりました。

サミット開始まで何回も野々島を訪れ、学校や島の方々とお話しをすることが出来、またたくさんの方の協力をいただきました。感謝申し上げます。

サミット概要

主催

みやぎおやしサミット実行委員会(お父さんたちのネットワーク)

共催

宮城県教育委員会生涯学習課/塩竈市教育委員会生涯学習課

後援

宮城県教育委員会/仙台市教育委員会/塩竈市教育委員会
河北新報社/ミヤギテレビ/TBC東北放送/仙台放送/KHB東日本放送/DateFM

開催日時

2017年9月17日(日) 10:30~16:00(当日14:00に変更)

開催地

塩竈市野々島 メイン会場 ブルーセンター(浦戸諸島開発総合センター)

運営

実行委員会形式 みやぎおやしサミット実行委員会
(お父さんたちのネットワーク)

前日プレ企画「とまって遊ぼうin野々島」スケジュール

9月16日(土)

準備隊 到着
かにっことうちゃん's 宿泊 ブルーセンター 20名ほど
八乙女小父ちゃんの会
16:01 野々島着

* 宿泊を伴うこともあり、参加者のキャンセルが相次ぎプレ企画は中止いたしました。

当日スケジュール

9月17日(日)

* 台風接近は未だ九州への上陸前でしたが、
天候の動きを見て、前倒しで運営することにしました。

* 塩釜マリノゲートまでの移動は各自集合し、
10:30 開会式 ブルーセンター体育館
司会は 霜山 清
(富沢・長町地区おやじの会ネットワーク顧問)
11:00 全体会 対談形式で野々島の区長さんから、島の魅力や島の生
活、今後の希望などについてのお話を聞きます。
話を伺うのは 石垣政裕(おとうさんたちのネットワーク)
11:30-12:30 昼食と交流
ダブル佐々木(台原小おやじの会:佐々木雅浩+多賀城中
おやじの会・佐々木裕一)が作るダブルに美味しいおやじ
焼きそば+おにぎり
12:30-13:45 分科会とファシリテータ
第一分科会 『おやじを地域に送り出す』
活動という名の飲み会が多いことが家族の悩み
それでも応援する理由は?
* 平井美江(宮城県教育庁生涯学習課)
第二分科会 『立て! おやじ達!!』
いじめ問題に
地域は おやじ達は どう立ち向かうのか
* 元木耕一郎(利府町立第三小学校PTA)
第三分科会 『地域とおやじの会』
地域が豊かになることにおやじの会はどう
貢献できるのか?
* 佐々木健治(八乙女おやじの会)
第四分科会 『島探検!』(参加対象:小学生)
野々島にしかない自然と触れ合います。
上杉チャンネットが仕掛ける冒険ツアー
集まれ! 冒険好きの元気な子どもたち
* 上杉チャンネット
13:45-14:00 閉会式

実行委員会

委員会メンバー

実行委員長	牧田和政(上杉チャンネット代表)
副委員長	照井貴広(鹿島台おやじの会)
	霜山 清(富沢・長町地区おやじの会ネットワーク顧問 宮城県高等学校PTA連合会会長)
交通・案内	原田真夫(寺岡おやじの会)
広報	霜山 清
飲食関連	佐々木雅浩(台原小おやじの会代表) 佐々木裕一(多賀城中おやじの会代表)
子ども企画	上杉チャンネット
星空観測	佐々木健治(八乙女おやじの会)
行政などとの調整	坂口清敏(上杉チャンネット、宮城県社会教育委員、 東北大学大学院環境科学研究科准教授)
現地コーディネータ	鈴木 裕(浦戸諸島野々島) 石垣政裕(お父さんたちのネットワーク、 東北大学大学院経済学研究科講師)

会 議

2017. 02. 09	塩竈市立浦戸小中学校訪問
2017. 04. 09	サミット第2回作戦会議
2017. 05. 11	浦戸小中学校・ブルーセンター訪問
2017. 07. 02	サミット第4回作戦会議
2017. 08. 16	野々島で現地下見
2017. 09. 01	サミット第5回作戦会議

参加費

子ども 1000円/人
大人 1500円/人
この費用に含まれた経費
・17日昼弁当・焼きそばなど
・施設使用料など参加費

当日参加人数

県内9団体 50名



8月 現地下見

報 道

河北新報 2017年9月29日
塩釜で第1回サミット「広げようおやじの輪」
地域の役割語りあう

第1回みやぎおやじサミットを終えて

第1回 みやぎおやじサミット
実行委員長 牧田和政

2017年9月、第1回みやぎおやじサミットが開催されました。浦戸諸島の野々島での開催ということで、テーマを「語り合おう おやじ達！ 島へ！」としました。開催にあたり、アドバイスをいただいたお父さんたちのネットワークの諸先輩方、参加していただいた皆様、そして何よりサミット開催に対して最大の尽力をいただいた野々島の皆さんに対し、心から感謝申し上げます。今回のサミットで得た「何か」を参考に、宮城の地域づくりに活かしてゆくこと期待します。本当にありがとうございました。



ブルーセンター内の受付

スタッフ皆さんがそれぞれ忙しい中、なんとか時間をやりくりしながら準備を進めてきました。サミットの直前で、台風が日本列島に上陸し、船の運航が危ぶまれました。また、おやじ自身や家族の病により参加できなくなったスタッフも出ました。このような様々な試練もありました。しかし、前日から島入りしたおやじたちの臨機応変な対応により、当日のスケジュールと時間を調整し、本サミットを無事に乗り越えることができました。サミットが終わってみて改めて、野々島で開催した意味を実感しました。



開会のあいさつ

「おやじ」と「おやじ」、「おやじ」と「お母さん」、
「おやじ」と「子ども」の交流

我々おやじの会のおやじは、地域の中で活動を行っています。しかし、そんなおやじたちの活動が、他のおやじ、お母さん、子どもにはどう見えるのだろう。

「おやじ」と「おやじ」の交流により、今後のおやじの会の活動のヒントを得ることができました。

「おやじ」と「お母さん」の交流により、家庭のことが置き去りになりつつも、協力してくれるお母さんたちの愛情を改めて実感することができました。

「おやじ」と「子ども」の交流により、子どもたちから元気なエネルギーをもらうことができました。

第1回みやぎおやじサミットを無事に終了することができました。そして、おやじ一人では大きなことができなくても、多くの方が少しずつ関わることでこんなに素晴らしサミットができるという達成感を感じる事が出来ました。

今回得られた知見や経験を今後の地域活動に活かし、第2回みやぎおやじサミットでパワーアップしたおやじになって再開しましょう。



司会の霜山清さん

■全体会「生き生きと地域で暮らすことのために」

お父さんたちのネットワーク

石垣政裕

野々島区長の西川信男さんに、「島で生きること」についてお話しをお聞きしました。

野々島も、東日本大震災では大きな痛手を受けました。それ以前からも若い人たちが少なくなり、島にある小中学校に入学する子どもたちも少なくなりました。どうしたらこの島で生き生きと暮らしていけるのか、島の現状とみなさんの活動について興味深いお話を伺いました。

野々島の自然がどんなに豊かというところがとても良く伝わりました。

夏には、島の人たちの楽しみと結束を深めるために、花火大会を行っているとのこと、そのために何人も花火を打ち上げる資格を持っていると聞いたときは参加者も驚きました。そして、参加者の中には来年是非見に来たいという気持ちが湧いて



サミットの契機を作っていたいただいた

松崎和佳子先生のご挨拶

きたそうです。

今回の会場となった体育館ワキにも花火用の仕掛けが残っていました。

自然豊かな、歴史のある野々島の生活をどう護り、地域をどう作っていくのか。わたしたちの地域活動としっかりとつながっているような気がしました。

今回のようなイベントを通して、地域を護る、地域をつなぐ、地域を盛り上げる活動が今後もどこかでつながることを期待しています。



野々島区長西川さんとの対話

■第一分科会 「それでもおやじを送り出す」

宮城県教育庁生涯学習課

平井美江

おやじたちが地域で活躍している。でも、その影には家族の応援があってこそ元気に活動できる。

そこで、実際の活動の様子を見て感じていることなどを女子3人でぶっちゃけ女子トークとして行いました。

最後は、TNOの霜山さんがきて、お父さんたしの本音を聞くことができました。



和気藹々と話は進む

【内容】

- ・自己紹介
- ・それぞれのおやじの会の活動の紹介（所属等）
- ・おやじたちの活動について思っていること、考えていること
- ・こんな場合どうしてる？
- ・おやじの生の声をきこう

【意見・感想】

- ・お父さんたちの活躍している姿を子どもたちに見せることはとてもいいこと。
- ・会社と家だけでなく、他の居場所があってもいいのではないか。
- ・おやじの会だけでなく、自分の子どもも巻き込んでいる様子もみられる。
- ・充実した活動が家庭にもいい影響になることもある。
- ・おやじたちだからこそ出てくるアイデアや意見、そして行動力。これはとってもうらやましい。

地域や子どもたちのために一生懸命動いているおやじたちをこれからも応援しようということになりました。

■第二分科会 「立て！おやじ達！！」

利府町立第三小学校PTA

元木 耕一郎

～いじめ問題に 地域は おやじたちは どう立ち向かうのか～

【参加者】

上杉の大西さん、同じく上杉のエト（表記は？）ご夫婦、富沢の霜山さん、お父さんたちのネットワークの石垣さん、利府町の元木

以下、分科会での意見を簡潔にまとめます。

Q. 「いじめ」の問題が深刻であるがどのような認識か？

小学生の子を持つ上杉大西パパ： 仕事中心で、子どもと十分に関わっていないというのが実情である。学校での様子を聞いても、（子どもからは）「どうせ知らないでしょ。」みたいな反応が返ってくる。

エトパパ： 同じような感じです。

Q. お母さんは、学校から帰ってきた子どもの表情なりを見て、「ん？何かあったな？」みたいなことはわかりますか。

エトママ：わかりますね。（笑）



熱心に討論する第二分科会

→ 父親と母親の日常の関わり度合いが顕著に表れた部分。「かかわり」についての話題になりました。

以下、父親が子どもとの関わりを深めるヒントとなる意見をまとめます。

- 霜山： おやじの会の立場からの意見。父親同士の輪を広げることも有効。
- 石垣： 昔は、家族間ですべてお見通しだった。父親が家庭に不在でも祖父母から情報が得られる。今にあっては、夫婦間のつながりが大事であろう。母親から父親への情報伝達。筒抜けの環境が大事だと思う。
- 元木： こういう場に足を運んだってことですでお子さんに対する意識は変わってくると思います。私はそうでした。できることから、やってみよう。私は、息子の友達が遊びに来た時には、必ず顔を出して、息子の友達と知り合いになることを意識してきました。

学校という集団社会に毎日、足を運んでいるのですから、何かしら毎日起きている。子どもの様子をつかむうえで、夫婦間のつながりを深めること、わが子の友達とつながること、親同士のつながりを作っていくこと……。

それぞれが抱えている事情に応じて、できることから取り組んでみてはどうでしょうか。こういった親同士が子どもについて話し合う機会に足を運び、意見交換をするのも刺激を受ける一つですね。

■第三分科会 「地域とおやじの会」

八乙女小父ちゃんの会

佐々木健治

第三分科会では上記テーマについて「地域が豊かになることにおやじの会はどう貢献できるのか」という視点で話し合いました。

【参加者】

上杉チャネル・向山小おやじの会・郡山おやじの会・利府第三小学校PTA

【話し合い】

(上杉チャルネット)

- ・夏祭りでは焼きそば等の出店を出す。
 - ・スズメ踊りなどでは高校生が戻ってきて旗持ちなどを担当する。
 - ・七夕では商店街から依頼され竹を切って持ってくる係を引き受ける
- な目に見える活動をしている。



第三分科会

- ・ハローインでは事前に、こども110番の家を回って子どもが来た時の対応を依頼し、お菓子を置かせてもらっている。
- 子どもたちは楽しみながら子供110番の場所を覚えることができる。

(利府第三小学校PTA)

- ・新興住宅街のため夏祭りが無い。
- ・カルタ大会や餅つきなどを行っている。

(向山小おやじの会)

- ・側溝清掃を行っている。
- ・地域との係わりはまだ薄い。

(郡山おやじの会)

- ・地元が農業地帯。「どろ田んぼであぼう！」実施。
 - ・町内会から地域清掃や夏祭りの支援要請がある。
 - ・イベントのときに自己完結して他からの力を借りず、会のメンバーで賄う。
- ロープ張りなら電力会社勤務のメンバー、ピザ作りなら食品会社勤務のメンバーなど。
- ・味噌作りのイベントのときは、自分たちで育てた大豆を使う。
 - ・卒業した子どもたちが戻ってきて手伝ってくれることが地域のタテのつながりになっている。
 - ・イベントを通して地域に知り合いが増えていく。

【まとめ】

話の中心は自分の会の活動紹介だったが、その中で地域との関わりも紹介されました。地域との関わりがそれほどなく模索中のおやじの会がある一方で、地域から頼りにされている会もあり様々でした。

おやじの会の在り方に「こうあるべき」というものはないので、それぞれの会で地域とどう関わっていくのかを考えていければいいのではないのでしょうか。

■第四分科会 『島探検！』(参加対象:小学生)

上杉チャンネル代表
牧田和政

第四分科会では、小学生を対象に野々島にしかない自然に触れ合う冒険ツアーを行いました。数名の大人の方から、第4分科会に参加したい旨の要請がありましたが、今回は小学生のみとさせていただきます。

島探検のルールは、地図を頼りに、上杉、利府・郡山、向山の3班に分かれて4つのミッションをクリアしながら野々島を探検するつもりでした。



知る人ぞ知る秘密の海岸へ

- ・ミッション1：貝がらを探せ！
たくさんの貝がら、きれいな貝がら、大きい貝がら、変な形の貝がら、・・・
・いろいろな貝がらを探せ！
- ・ミッション2：ジャンケンで3回連続で勝て！
この先のルートに行くためには、オヤジを相手にジャンケンで3回連続で勝たなければ通れない！1人で3回、3人で3回、班毎に作戦を考えろ！
- ・ミッション3：長さを当てろ！

歩幅、腕の長さ、靴のサイズ、、、いろいろなモノを使って木の長さを当てろ！

- ・ミッション4：ポーズを決めろ！

「ボラ」の前で、班全員の「カッコいい」ポーズの写真を撮れ！

大人にスマートフォン、またはデジタルカメラを借りろ。

(時間があったらやってみよう)

- ・ミッション5：方角を当てろ！

方位磁針の使い方を知っているか？ブルーセンター入口の方角を当てろ！

しかし、分科会の時間が短縮になった関係で、ミッション1とミッション4を省略。ミッション2のジャンケン勝負もなかなか決着が付かず、途中から中止しました。ミッション3は、山を越えて、たどり付いた浜で164cmの木の長さを当てる。自分の身長や靴のサイズなどを頼りに考える子どもたち。しかし、海岸に到着した子どもの中には、ミッションよりも水遊びに夢中の子も。靴下を脱いで水の中に入る子ども、シャツやズボンを濡らしながら貝殻を集める子ども。本当に楽しそうでした。閉会式の中で班毎の答えを確認した結果、上杉班が最も近く、上杉班の皆さんは賞品のイチゴポッキーをゲットしました。



なんだろうこれ??

今回のサミットでは、時間が短縮になったため、当初計画していたミッションをしながら探検することは出来ませんでした。しかし子どもたちは、海や山の自然を十分に楽しむことができたと思います。好奇心を持って前に進む子どもたちから、元気なエネルギーを感じることができました。

■おやじサミット焼きそば報告

多賀城中学校おやじの会

佐々木裕一

私からは焼きそば大会に付きまして報告とさせていただきます。

なんと担当は二人だけ！

作戦会議時、突然親分から、あんたら二人で頑張っ！と

杯名をうけ、台原佐々木（以後D佐々木）と多賀城佐々木（以後T佐々木）のW佐々木で否応なくスタート！

さてどうする！

二人で結構お互いの住んでいる所がいい感じで遠いこともあり、ひとまずはメールにて打ち合わせすることに。しかし、T佐々木の方がいつでもメールを見られる環境にはないためどうしても対応が後手後手になってしまう。

だったら一度会って詳細を決めて突っ走ることに決める。



昼食の準備

分担担当決める

食材はD佐々木。当日用意ではなく、確実性を求めて予約しておく。その他はT佐々木が用意。

台風&緊急離脱

なんと、当日は台風が午後から来る上、D佐々木が急遽急用がはいり当日参加は無理となる。なんとか食材は牧田さんが受け取りもってくることとなり一安心。



焼きそば楽し

人手が足りない

D佐々木が来れないため、急遽利府の元木さんをお願いし快諾を頂く。

しかし、マタマタ親分より元木さんを急きょ分科会に参加して貰うとの指示があり、私が一人に・・・がしかし、やっぱりおやじの会、お手伝いを名乗り出る方が来まして、なんとかスタート（外崎さんともう一人の方サンキューです）

さあ作るぞ～ところが・・・

鉄板があるとのことで、炭を用意したが鉄板が見当たらない！最悪調理室で作ってピストンするしかないかとあきらめかけた所、鉄板が見つかり調理開始！



冒険前の腹ごしらえ

さあ食べて

作り始めれば後は、おやじの腕を活かすのみ。又、分科会が終わるとともに続々とおやじ&お嬢様方、子供たちも手伝ってくれまして順調に皆さんに食べてもらうことが出来ました。

やっぱりいつも同じ結末

なんとかなるのがおやじの会なんですね～団結力が半端ないといえますか・・・・

最後に、食材担当D佐々木さん、当日お手伝いを頂きました皆様方ありがとうございました。

以上、T佐々木が大焼きそば大会に付きましてレポートさせて頂きました。



発表の佐々木裕一さん



閉会式



分科会報告 平井美江先生

参加者のみな様 ありがとうございました!

Special Thanks



お世話になった野々島の鈴木裕さん



第1回 みやぎおやじサミット
報告書

制作 第1回みやぎおやじサミット
実行委員会

2017年12月10日
